

# 令和2年度 当初予算のポイント

未来を拓く ひら 文教住宅都市・西宮  
～ 憩い、学び、つながりのある美しいまち～

西宮市

令和2年度 西宮市当初予算の全体像 . . . 2

1. 住環境・自然環境 . . . 3

- 公園リニューアル事業
- 西宮浜総合公園整備事業
- 武庫川広田線整備事業（中津浜線以東～瓦木なかの道）
- 樋ノ口土地区画整理事業
- 阪急武庫川新駅設置事業
- 市道西第178・180号線等整備事業

2. 子供・教育 . . . 6

- 公立保育所改築等整備事業
- 民間保育所等整備事業
- 認可外保育施設利用料補助事業
- 保育士確保事業
- 教育・保育政策検討調査事業
- 生瀬小学校区教育・保育施設整備事業
- 学校施設の長寿命化改修事業
- 学校体育館環境改善事業
- 西宮養護学校校舎改築事業
- 春風小学校教育環境整備事業
- 安井小学校教育環境整備事業
- 瓦木中学校教育環境整備事業
- 留守家庭児童対策施設整備事業
- 子供の居場所づくり事業
- 西宮浜小中一貫教育推進事業
- 不登校児童生徒のための教育支援センター再編・拡充事業
- 西宮型コミュニティ・スクール事業
- 「こころん・サーモ」構築事業

3. 福祉・健康・共生 . . . 15

- 認知症初期集中支援体制の強化
- 産婦健康診査助成事業
- スモークフリーにしのみや推進事業（受動喫煙防止関連事業）
- 骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー支援事業
- 統合新病院整備事業

4. 都市の魅力・産業 . . . 17

- 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業
- 西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業
- 図書館読書活動推進事業
- 生涯学習推進計画の策定
- スポーツを核とした甲子園地域の活性化事業
- 卸売市場再生整備事業
- 都市農地保全・活用促進事業

5. 環境・都市基盤、安全・安心 . . . 20

- 地球温暖化対策事業
- 西部総合処理センター焼却施設整備事業
- 折り畳み式ネットボックス等購入費補助金
- 粗大ごみ収集受付機能の拡充（LINEによる受付）
- 防災情報システム整備事業
- 西宮消防署建替事業
- 街路事業
- 阪急電鉄神戸本線連続立体交差検討事業

6. 政策推進 . . . 25

- （仮称）越木岩センター整備事業
- 市民館建替事業
- 第二庁舎（危機管理センター）整備事業
- フリーWi-Fi設置事業
- 市民の声システム導入事業
- LINEを活用したオンライン行政手続導入事業
- 業務効率化推進支援事業

※令和元年度を初年度とする第5次西宮市総合計画基本計画における施策体系に沿って記載しています。

## 令和2年度 西宮市当初予算の全体像

令和2年度当初予算規模は、下表のとおりです。幼児教育・保育の無償化の影響や保育所等の待機児童対策などにより、子育て支援関係の予算が大幅な増となっているほか、第二庁舎（危機管理センター）の整備や学校施設の建替えなど公共施設の更新に係る費用が大幅な増となっています。一般会計は4年連続の増となり、阪神・淡路大震災直後の平成7年度を除くと過去最大の規模となっています。

### ■各会計予算規模

(単位 千円)

	R2	R1	増減額	増減率
一般会計	193,080,562	184,073,481	9,007,081	4.9 %
特別会計	88,641,662	87,632,903	1,008,759	1.2 %
企業会計	47,422,273	47,466,776	▲ 44,503	▲ 0.1 %
計	329,144,497	319,173,160	9,971,337	3.1 %

### <当初予算のポイント>

「文教住宅都市・西宮」の魅力を未来へと引き継ぐため、次のことに重点配分しました。

- ・待機児童対策を始めとした喫緊の課題への対応
- ・第二庁舎の整備や学校施設の建替えなど公共施設の更新・改修
- ・効率的で効果的な行政経営を行うための、行政経営改革に資する取組

# 1. 住環境・自然環境

## ■ 公園リニューアル事業

新規

R 2 予算

4,000 千円

整備後30年以上を経過した都市公園は、施設の老朽化及びバリアフリー化に課題がある。

本事業では、子供の遊び場としての機能、シニア等多様な世代利用に対応するバリアフリー化や健康増進機能、また防災・減災機能等を複合的に充実・向上を図るため、市民（公園利用者）の意見等を踏まえ公園全体の再整備を行う。

・令和2年度：学文殿公園（測量・実施設計、事業認可手続等）



遊具



水飲み場と手押しポンプ

## ■ 西宮浜総合公園整備事業

継続

R 2 予算

351,000 千円

平成2年に都市計画決定した都市公園である西宮浜総合公園について、「海のプロムナード公園」、「にぎわいのレクリエーション公園」、「安全・安心の公園」、「市民協働の公園」を基本理念とした整備を進める。

・令和2年度：遊びの広場、北多目的広場整備等



西宮浜総合公園基本設計平面図



## ■ 武庫川広田線整備事業（中津浜線以東～瓦木なかの道）

継 続

R 2 予算

205,380 千円

武庫川広田線は、甲東瓦木地区を東西に横断する都市計画道路で、中津浜線以東は未整備となっており、狭い部分や歩道の未整備区間が残存している。

本事業では、安全な歩行空間の確保や通過交通の円滑化を図るため、中津浜線以東～瓦木なかの道区間の用地買収とともに道路幅員15mの道路整備を行う。工事完了は令和5年度を予定。

・令和2年度：用地買収、物件補償、道路工事等

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

・387,500千円（R4）



## ■ 樋ノ口土地区画整理事業

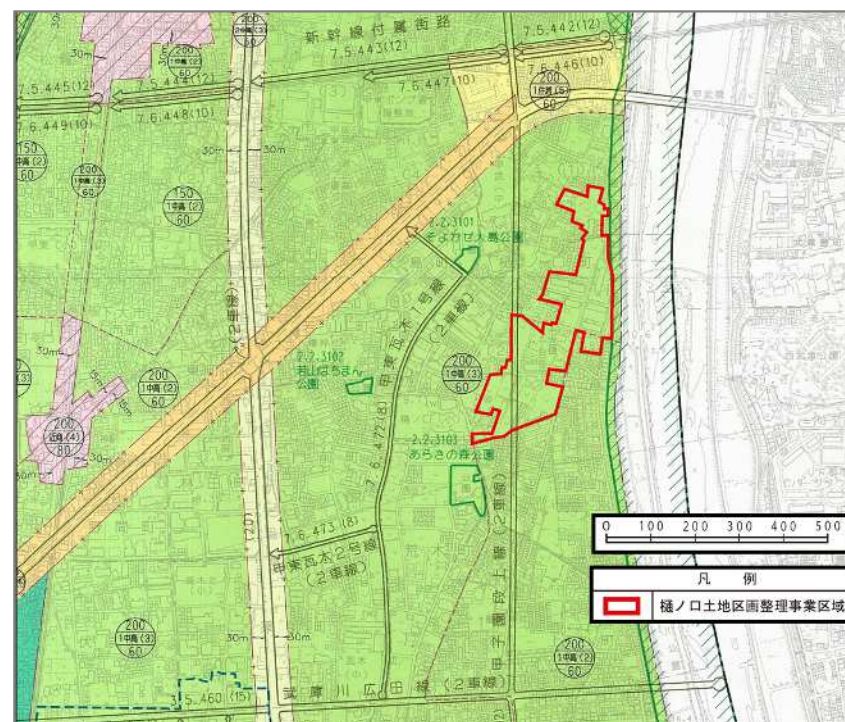
継 続

R 2 予算

58,000 千円

樋ノ口地区の農地を主体とした区域において、組合施行による土地区画整理事業を実施し、土地区画整理法に基づき必要な支援を行う。事業完了は令和6年度を予定。

・令和2年度：換地設計、仮換地指定、工事等



## ■ 阪急武庫川新駅設置事業

継 続

R 2 予算

1,000 千円

瓦木地区の公共交通の利便性向上や都市活力の維持・向上を図ることを目的として、阪急電鉄神戸本線武庫川橋梁部等において新駅設置に向けた検討及び詳細設計などを行う。

・令和2年度：検討業務



## ■ 市道西第178・180号線等整備事業

継 続

R 2 予算

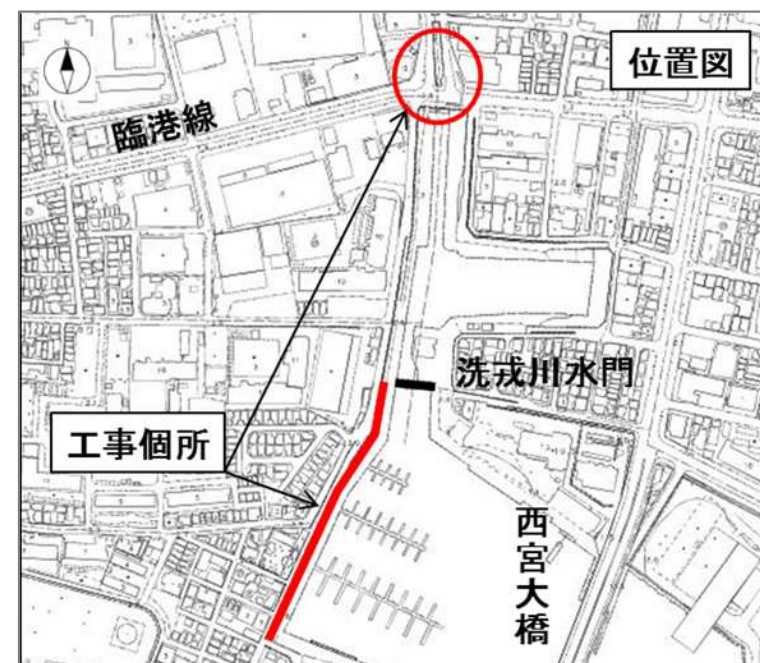
233,000 千円

歩行者・自転車の安全を確保するため、臨港線から御前浜入口までの車道及び歩道を整備する。

・令和2年度：既設防潮堤取壊し工事等

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

・112,000千円（R3）





## 2. 子供・教育

### ■ 公立保育所改築等整備事業

継 続

R 2 予算

636,213 千円

公立保育所等について、耐震診断の結果を踏まえ、該当する施設に対して順次施設の移転、建替え、改修等を実施することにより、入所児童の安全確保を図る。

・令和2年度：北夙川保育所移転建替工事等

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

- ・429,441千円（R3）
- ・38,484千円（R3）
- ・30,000千円（R4-R13）



移転・建替え後の北夙川保育所イメージ

### ■ 民間保育所等整備事業

継 続

R 2 予算

1,642,171 千円

待機児童の解消に向けて、保育所・幼保連携型認定こども園等を整備する社会福祉法人等に対し、施設整備費を補助する。また、定員拡大や耐震化を目的として保育所の建替え等を実施する法人に対し、整備費用を補助する。



令和2年4月開園予定の民間保育所イメージ

## ■ 認可外保育施設利用料補助事業

拡 充

R 2 予算

165,312 千円

本市では、保育所待機児童の解消を重要課題として、施設の整備等により受入れ枠の拡大を進めているが、今後更に保育需要が高まることが予測され、待機児童の増加が懸念されているところである。

本事業では、認可保育所等を申込みしたが入所できず利用保留となった世帯が、やむを得ず認可外保育施設を利用する場合、児童の年齢に関わらず利用料の一部について補助を行うことにより、経済的負担の格差軽減を図る。

・令和2年度：0～2歳は月額70,000円、3～5歳は月額60,000円を上限に補助する。



※写真はイメージです。

## ■ 保育士確保事業

拡 充

R 2 予算

228,723 千円

保育士不足への対応は全国的な課題であり、本市においても保育士の安定的な確保は重要な課題となっている。

本事業では、民間保育所等への就職を促進するため、就職説明会や保育士用の宿舍借上げ費用に対する補助、奨学金返済費用及び資格取得費用の一部補助のほか、令和元年度から保育の周辺業務に係る人件費補助を開始し、民間保育所等における保育士確保のための支援を行う。

・令和2年度：保育士確保に係るホームページの新規構築など広報を強化する。



令和元年度保育士就職フェア



## ■ 教育・保育政策検討調査事業

継 続

R 2 予算

6,626 千円

西宮の乳幼児期の教育・保育の質向上を目的に、子供に何が必要か、大人はどのような関わりをすればよいのか等を保育者や市民に示すため、（仮称）西宮市幼児教育・保育ビジョンを策定する。また、西宮市教育大綱については、シチズンシップの醸成や社会全体で子供を育む必要性を加える等の改定を行う。

・令和2年度：取りまとめ作業、パブリックコメント、記念シンポジウムの開催



幼稚園教諭・保育士等を対象としたワークショップの様子

## ■ 生瀬小学校区教育・保育施設整備事業

継 続

R 2 予算

17,239 千円

生瀬小学校区には3～5歳児を受け入れる保育施設がなく、0～2歳児の保育所受入れ枠も足りていないため、0～5歳児を受け入れる新たな保育施設が必要な状況となっている。

本事業では、保育施設として活用可能な土地が限られている中、現在の生瀬幼稚園舎を改修し、幼保連携型認定こども園として整備するため、生瀬幼稚園を生瀬小学校内に移転・整備する。

・令和2年度：新園舎整備・移転、旧園舎改修等



移転・整備後の生瀬幼稚園イメージ

## ■ 学校施設の長寿命化改修事業

継 続

R 2 予算

913,428 千円

本市では、学校施設の多くが築30年以上を経過する中、効率的・効果的な改修を行い、より良い教育環境を確保するため、平成30年度に「西宮市学校施設長寿命化計画」を策定した。

本事業では、同計画に基づき、学校施設の安全性の確保と機能向上を図るため、学校施設の外壁改修、屋上防水、空調設備改修、トイレ改修等の各種改修を行う。

[長寿命化改修、大規模改修、外壁改修、スチールサッシ改修、トイレ改修等の一部については、令和元年度補正予算で計上（1,617,446千円）し、令和2年度に繰越実施する。]

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

- ・ 73,877千円 (R3)
- ・ 436,118千円 (R3)
- ・ 58,680千円 (R3-R12)



改修後の学校施設

## ■ 学校体育館環境改善事業

新 規

R 2 予算

645,917 千円

本市では、市立小・中学校、高等学校の普通教室及び児童・生徒が使用する特別教室に空調設備を完備している。

本事業では、近年の夏季の猛暑を踏まえ、教育活動における熱中症対策及び災害時における避難所環境改善等の観点から、中学校体育館に空調設備の設置を進める。

- ・ 令和2年度：中学校20校の体育館に空調設備を設置



空調設備を設置する中学校体育館現況

## ■ 西宮養護学校校舎改築事業

継 続

R 2 予算

2,263,762 千円

昭和30年代に校舎が建築された西宮養護学校は、施設の老朽化が進むとともに、教室不足や重度化・重複化している障害等に対応するため、優先的に整備すべき学校と位置付けている。

本事業では、同校の老朽校舎の解消と児童・生徒の状況に適した教育環境を整備するため、校舎の改築を行う。工事中は旧尼崎養護学校へ仮移転する。新校舎は令和3年度に竣工予定。

・令和2年度：校舎改築工事



西宮養護学校改築イメージ

## ■ 春風小学校教育環境整備事業

継 続

R 2 予算

2,390,940 千円

昭和30年代に校舎が建築された春風小学校は、施設の老朽化が進むとともに、教室不足や運動場の面積が不十分である等、優先的に整備すべき学校と位置付けている。

本事業では、同校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築を行う。新校舎は令和2年度の冬に竣工予定。

・令和2年度：校舎改築工事竣工

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

- ・61,123千円（R3）
- ・271,618千円（R3-R4）



春風小学校改築イメージ



## ■ 安井小学校教育環境整備事業

継 続

R 2 予算

315,748 千円

昭和30年代に校舎が建築された安井小学校は、施設の老朽化が進むとともに、教室不足や運動場の面積が不十分である等、優先的に整備すべき学校と位置付けている。

本事業では、同校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築を行う。令和3年度から校舎改築工事に着手し、令和5年度から新校舎が稼働する予定。

- ・令和2年度：先行設備工事、仮設校舎設置

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

- ・4,482,387千円（R3-R5）



安井小学校現況

## ■ 瓦木中学校教育環境整備事業

継 続

R 2 予算

144,197 千円

昭和30年代に校舎が建築された瓦木中学校は、施設の老朽化が進むとともに、教室不足やバリアフリーが十分でない等、優先的に整備すべき学校と位置付けている。

本事業では、同校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築及び長寿命化改修を行う。令和4年度から校舎改築工事に着手し、令和6年度中に新校舎が稼働する予定。

- ・令和2年度：基本設計・実施設計着手

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

- ・178,963千円（R3-R4）
- ・542,300千円（R3-R6）



瓦木中学校現況

## ■ 留守家庭児童対策施設整備事業

継 続

R 2 予算

556,517 千円

共働き世帯の増加等により留守家庭児童育成センターの利用ニーズは高まり続けており、待機児童の発生や高学年児童の受入れ要望もある。

本事業では、待機児童の解消や小学4年生の受入れ、環境整備などを図るため、施設の整備・学校教室の改修等を実施する。

・令和2年度：平木留守家庭児童育成センターほか2か所（設計委託等）、深津留守家庭児童育成センターほか2か所（新築等）

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

- ・ 242,495千円（R3）
- ・ 226,132千円（R3-R5）



整備後の留守家庭児童育成センター

## ■ 子供の居場所づくり事業

継 続

R 2 予算

128,661 千円

本市の子育てアンケート結果では「安全・安心な遊び場の充実」を望む意見が突出しているなど、子供たちの遊び場の整備が求められている。また保育需要の高まりから留守家庭児童育成センターの待機児童問題も課題となっている。

本事業では、放課後の小学校の運動場や教室等を活用して子供たちの居場所を提供し、自由で主体的な遊びや学習を通して子供の育ちを支援する。

・令和2年度：従来より運用方法等を拡充した「放課後キッズルーム事業」を6校において実施する。

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

- ・ 143,000千円（R3）



放課後キッズルームの様子

## ■ 西宮浜小中一貫教育推進事業

継 続

R 2 予算

40,981 千円

西宮浜小・中学校を一貫校化し、令和2年4月に「西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校」として開校する。

本事業では、同校について特色ある学校づくりを進めるなど、教育環境の維持・向上を図る。

・令和2年度：学校図書館の地域開放（市立図書館蔵書の貸出・返却等）、総合教育センター附属校としての先進的な取組、校舎改修工事等

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

・45,013千円（R3-R8）



授業で使用するタブレット端末

## ■ 不登校児童生徒のための教育支援センター再編・拡充事業

拡 充

R 2 予算

110,922 千円

本市では、あすなる学級（社会的自立を目指す不登校児童生徒支援施設）を設置し、市立小・中・義務教育学校に在籍する不登校の児童・生徒を対象に、社会的自立を目指して学習活動等を行っている。

近年、あすなる学級への入級のニーズが高まっており、休園した幼稚園施設を利用し、拡充を行う。

・令和2年度：瓦木幼稚園休園施設の改修工事



あすなる学級の様子



## ■ 西宮型コミュニティ・スクール事業

継 続

R 2 予算

24,901 千円

学校が「育てたい子供像」や「目指すべき教育」のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けてともに連携・協働していくコミュニティ・スクールの導入を進める。

本事業では、現行の教育連携協議会を法定の要件を備えた学校運営協議会に移行させ、そこで話し合われた課題の解決に向けた地域学校協働活動が充実するよう、より包括的・機動的な協働活動を推進する。

・令和2年度：パイロット校での実施



地域住民、保護者、教職員による学校運営協議会

## ■ 「こころん・サーモ」構築事業

新 規

R 2 予算

1,690 千円

「こころん・サーモ」は、本市と武庫川女子大学が共同開発した、子供理解と生徒指導を目的とした心理状態チェックシステムであり、アンケートにより個々の子供の心の状態を、現状、短期、長期にわたって把握するとともに、一定の集団（学級や学年）の状況と合わせることで、いじめに対する予防的な手立て等に役立てることが可能となる。

本事業では、これまでの試行実施結果を踏まえ、同システムを市内の全小・中学校に本格導入する。

こころんサーモ

1年1組1番

1 学校のことで困った時に相談できる友だちや先生、家族はいますか。

まったくいない



あまりいない



少しいる



たくさんいる



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35

やりなおす

アンケート回答画面

### 3. 福祉・健康・共生

#### ■ 認知症初期集中支援体制の強化

拡 充

R 2 予算

38,567 千円

認知症の診断、適切な医療・介護等が受けられる初期の対応体制を構築するため、医療・介護の専門職及び専門医で構成される支援チームを設置し、家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、おおむね6か月の間に包括的かつ集中的に支援を行い、自立生活をサポートする。

・令和2年度：支援チームの増

#### ■ 産婦健康診査助成事業

新 規

R 2 予算

27,147 千円

国は平成29年度より、産後うつ予防や新生児への虐待予防等のため、産後2週間や産後1か月などの産後間もない時期における産婦健康診査2回分の助成を行う「産婦健康診査事業」を国庫補助対象とし、産後の初期段階における母子支援を強化している。

本市では、令和2年10月から産婦1人につき2回を上限に、1回あたり5,000円の費用助成を行う。また、エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）結果を健診実施機関と共有し早期に産後うつを発見することにより、産後ケアや家庭訪問などの育児支援を行い、虐待予防につなげる。

#### ■ スモークフリーにしのみや推進事業（受動喫煙防止関連事業）

新 規

R 2 予算

6,320 千円

令和2年4月に改正健康増進法及び兵庫県受動喫煙の防止等に関する条例が完全施行されることに合わせ、市としてより一層の取組を進めるべく、禁煙外来治療に対する助成、受動喫煙防止の啓発、卒煙（禁煙）相談を実施する。



## ■ 骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー支援事業

新規

R 2 予算

1,400 千円

骨髄等の移植を要する患者の9割以上にドナー候補者が見つかるが、実際に移植に進むのは、そのうちの6割程度となっており、仕事を休めない等のドナー側の都合により提供辞退となるケースが多い。

本事業では、骨髄・末梢血幹細胞移植のドナーに対し助成金を交付することにより、休業による収入減などの経済的負担を軽減し、提供辞退者の減を図る。

## ■ 統合新病院整備事業

継続

R 2 予算

11,885 千円

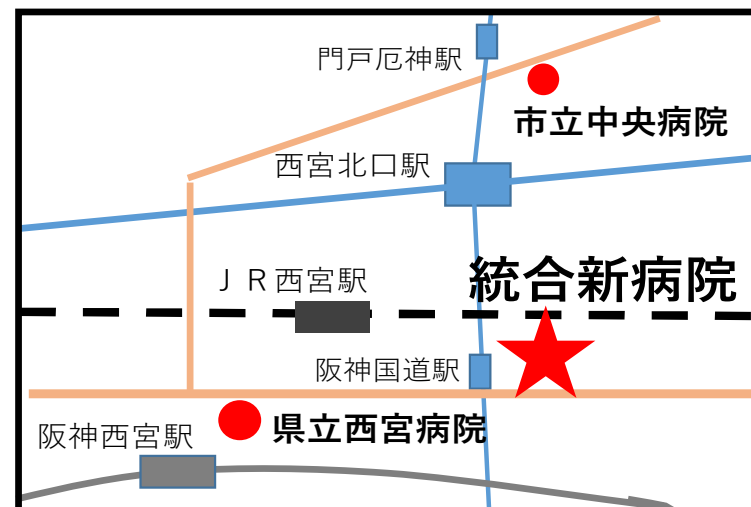
救急医療や小児・周産期医療の充実、大規模災害時の医療提供など、本市の医療環境の向上や医療課題の解消を図るため、市立中央病院と県立西宮病院の統合再編を行う。統合新病院は、アサヒビール西宮工場跡地に整備し、令和7年度に開院予定。

・令和2年度：基本設計・実施設計着手（県）、用地取得（県）、中央病院跡地の活用方法検討

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

・3,974,083千円（R3-R32）

・255,464千円（R3-R37）





## 4. 都市の魅力・産業

### ■ 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業

新規

R2予算

17,651 千円

「誰もがスポーツに親しみ、スポーツ活動を通じた健康づくりや交流が活発なまちをつくる」を実現すべく、東京2020オリンピック聖火リレーのルートに本市が選ばれたことを契機に、スポーツに触れる機運を高め、自身のライフスタイルにスポーツを取り込む機会を創出する。

・令和2年度：オリンピック・パラリンピック聖火リレー、東京2020競技大会パブリックビューイング



市内のオリンピック聖火リレールート

### ■ 西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業

継続

R2予算

8,155 千円

老朽化した中央体育館や陸上競技場等を、市民のスポーツ活動を推進するための総合スポーツ施設として再整備するとともに、市南部地域の地域防災拠点である中央運動公園について、災害対策活動の拠点としての機能強化を図る。中央体育館は令和6年度に供用開始予定、中央運動公園全体の工事は令和7年度に完了予定。

・令和2年度：事業者選定及び契約、設計

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

・62,700千円（R3-R7）

・16,258,094千円（R3-R26）



中央体育館現況

## ■ 図書館読書活動推進事業

新規

R 2 予算

29,988 千円

図書館は個人の生涯学習を支える基本的な学習施設（知のインフラ）として、多くの市民に利用されているが、さらに生活上の課題解決に資する情報拠点としての機能の充実が求められている。

本事業では、司書の専門性をより生かした運営体制への見直しを進め、レファレンス機能の充実及び学校図書館の地域開放など、読書振興及びサービス向上に取り組む。

・令和2年度：北部図書館の貸出返却等基本業務の委託、利便性の向上のため返却用ポストの増設



貸出図書返却用ポスト

## ■ 生涯学習推進計画の策定

新規

R 2 予算

4,702 千円

生涯学習事業は、施策分野ごとに実施されているが、全庁的な連携が不十分なため、事業の重複があるなど効果的な事業展開ができていない状況にある。そこで、生涯学習を推進する新たな体制づくりや、生涯学習施設のあり方など、市の生涯学習施策の指針となる生涯学習推進計画を策定する。

## ■ スポーツを核とした甲子園地域の活性化事業

新規

R 2 予算

6,000 千円

甲子園地域では、令和2年に甲子園駅前広場が整備され、令和3年には甲子園球場南側市有地に新施設が完成することから、阪神電鉄が広域・複合型エンターテインメントエリアとして地域のブランドイメージを構築し、交流人口の増加につなげる「365日賑わいのあるボールパークエリア」形成に向けた取組を進めている。この動きに合わせ、市と阪神電鉄、関連事業者などによる協議会を設置し、甲子園周辺のスポーツ関連資源を紹介するエリアPR媒体の発行やにぎわい創出イベントの実施、スポーツ関連ビジネスが展開しやすい環境づくりを進め、地域の活性化につなげる。

## ■ 卸売市場再生整備事業

継 続

R 2 予算

5,196 千円

西宮市卸売市場は、開設後70年以上経過し、施設の老朽化などが著しいことから、平成24年度策定の「西宮市卸売市場整備基本方針」に基づき、公設市場を廃止・統合民営化の上、市街地再開発事業により、市場施設の再整備と市場機能の強化を図るとともに、都市核にふさわしいにぎわいと魅力ある都市空間の形成を目指し、地元関係者と事業推進に取り組む。

・令和2年度：卸売市場新開設者法人開業支援等



整備後の卸売市場イメージ

## ■ 都市農地保全・活用促進事業

新 規

R 2 予算

4,500 千円

本市では、市街化区域内農地の約64%を占める生産緑地の大半が令和4年に指定期限の30年を迎えることから、一時期に多くの農地が宅地化されるおそれがある。都市の農地は食料生産だけでなく、防災、水源かん養等、様々な重要な役割を担っているため、保全・活用策について検討を進める必要がある。

本事業では、委託事業者が農地所有者を訪問し、今後の活用に関するニーズ把握を行うとともに、都市農地活用の提案とその実施までのサポートを行う。また、市民農園の開設を希望する農家に対し、開設整備のための費用補助を行う。



そばづくり体験農園の様子



## 5. 環境・都市基盤、安全・安心

### ■ 地球温暖化対策事業

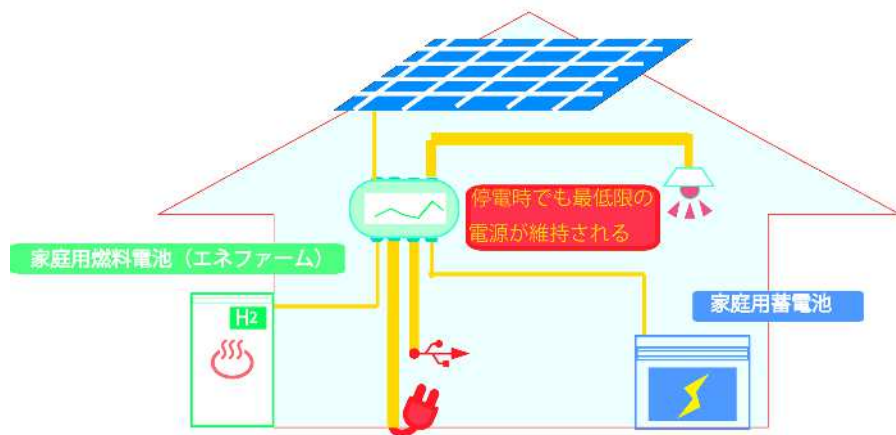
拡 充

R 2 予算

21,261 千円

平成31年3月に策定した「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の推進のため、実効性のある取組が必要である。

本事業では、エネファーム・蓄電池の設置に対する補助金交付、省エネ行動モニター事業分析による温室効果ガス推計・温暖化対策の検討、政府の実行計画における目標値を視野に入れた地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定、ひょうご環境創造協会が実施している「うちエコ診断」の受診促進を図るため家庭における省エネ推進啓発事業、家庭における省エネ行動を推進する省エネチャレンジ事業を実施する。



家庭用燃料電池・蓄電池の導入イメージ

### ■ 西部総合処理センター焼却施設整備事業

新 規

R 2 予算

9,210 千円

経年劣化した西部総合処理センター焼却施設の代替施設として、西部総合処理センター破砕選別施設を解体後、新たな焼却施設を整備する。新施設は令和12年度の稼働開始を目指す。

・令和2年度：各種技術調査



西部総合処理センター焼却施設現況

## ■ 折り畳み式ネットボックス等購入費補助金

新規

R 2 予算

10,042 千円

近年増加傾向にある、ごみステーションにおけるカラス被害の防止対策として、折り畳み式ネットボックス購入費用の一部を補助することにより、カラス被害を抑止するとともに、快適で良好な生活環境の確保を図る。



折り畳み式ネットボックス

## ■ 粗大ごみ収集受付機能の拡充（LINEによる受付）

新規

R 2 予算

10,817 千円

現在、電話のみで対応している粗大ごみの収集申込みとごみの出し方等に関する問合せ対応業務について、市のLINE公式アカウントから24時間365日申込みが可能となる機能及びチャットボットによる問合せ応答機能を新たに導入する。

※本事業は、P 27の「LINEを活用したオンライン行政手続導入事業」に関連する事業である。



## ■ 防災情報システム整備事業

継 続

R 2 予算

508,375 千円

近年、自然災害は大規模化、多発化しており、特に近い将来発生が予測されている南海トラフ地震においては、甚大な被害が想定されている。

本事業では、第二庁舎（危機管理センター）の整備に併せ、災害情報等を集中管理し、情報共有するための「防災情報システム」を整備することにより、市民への防災・災害情報発信の強化と、ICT化による業務の最適化を図る。

・令和2年度：システム構築・引渡、既存設備移設工事ほか



## ■ 西宮消防署建替事業

継 続

R 2 予算

578,842 千円

築54年を経過した西宮消防署庁舎は、老朽化及び耐震性の課題に加えて、年々増加する消防需要への対応のための増員・増隊に伴う施設の狭あい化も課題となっている。

本事業では、これらの課題を解決するとともに、大規模災害時の消防活動拠点として一層の機能強化を図り、本市の基幹消防署としてふさわしい庁舎に建て替える。

・令和2年度：消防庁舎棟建設工事



建替後の西宮消防署イメージ



## 街路事業

拡充

R2 予算

924,900 千円

地域間の移動円滑化や歩行者の通行環境改善、災害時の避難経路の確保のため、本市道路網の骨格を形成する都市計画道路の整備や老朽化区間の更新、無電柱化を行う。

・令和2年度：競馬場線（用地買収、道路改良工事等）、山手幹線熊野工区（用地買収、道路改良工事等）、門戸仁川線（詳細設計）、鳴尾今津線（道路改良工事）、小曾根線（予備設計）、今津西線（調査検討）



## ■ 阪急電鉄神戸本線連続立体交差検討事業

継 続

R 2 予算

2,000 千円

円滑な交通や安全な通行を阻害している踏切を除却し、南北道路の交通処理能力や公共交通の利便性の向上、沿線の市街地形成の促進などを図るため、阪急電鉄神戸本線の西宮北口駅から武庫川までの間の鉄道と道路の立体交差化について、実施に向けた必要な調査・検討を行う。

・令和2年度：予備調査

## 6. 政策推進

### ■ (仮称) 越木岩センター整備事業

継 続

R 2 予算

9,250 千円

平成29年に市が土地・建物を取得した越木岩福祉会館は、公民館や市民課分室などが入る複合施設である。昭和51年に建設され老朽化も進んでいるため、今後予想される行政課題解決に向け、本庁地区北西区域の拠点施設として再整備を行う。

・令和2年度：基本構想策定



越木岩福祉会館現況

### ■ 市民館建替事業

継 続

R 2 予算

14,240 千円

地域コミュニティの拠点施設として、市内22か所に設置する地区市民館のうち、耐震性に課題のある施設を順次建て替えることにより、利用者の安全性を高め、指定避難所として活用するとともに、地域活動の活性化を図る。

・令和2年度：大筒市民館（新設工事）、甲陽園市民館（アスベスト調査）

《 当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間） 》

・150,000千円（R3-R8）



大筒市民館現況



甲陽園市民館現況



## ■ 第二庁舎（危機管理センター）整備事業

継 続

R 2 予算

5,378,078 千円

老朽化や耐震面において喫緊の課題を抱えた旧教育委員会庁舎を建て替え、市の防災・危機管理の中核拠点として災害時の初動体制を担う部署を集約し、高度な耐震機能と安全性を備えた第二庁舎（危機管理センター）を整備する。第二庁舎は、令和3年度に供用開始予定としている。

・令和2年度：建設工事、情報システムの移設等



第二庁舎（危機管理センター）イメージ

## ■ フリーWi-Fi設置事業

新 規

R 2 予算

5,646 千円

市民・来庁者の利便性の向上や災害時の通信確保等を目的として、公共施設を中心に、フリーWi-Fi環境を整備する。

接続時の初期画面に、市民啓発に関する情報をプッシュ発信するとともに、将来的には市民アンケート実施の適否も検討する。なお、開始時点では十数箇所でのスモールスタートとし、その後、利用状況のデータを収集・確認しながら設置場所の拡大検討を行う。

## ■ 市民の声システム導入事業

新 規

R 2 予算

6,933 千円

本市では、市政に対してメールや手紙で寄せられる市民の声を、庁内関係部局で共有し、施策の推進に活用している。

本事業では、新システムの導入により、業務の効率化を図るとともに、ホームページでの公開対象を拡大することで、開かれた市政を目指す。

・令和2年度：システムの構築

## ■ LINEを活用したオンライン行政手続導入事業

新規

R 2 予算

2,200 千円

行政手続の利便性を高め、業務の効率化を図るため、LINEを活用した複数の行政手続の受付や問合わせ、アンケートの実施などが行えるシステムを導入する。

・令和2年度：粗大ごみの収集申込みとごみに関する問合わせ対応機能、不法投棄や道路等の不具合を通報する機能の導入、アンケートの実施についての研究

※本事業は、P 21の「粗大ごみ収集受付機能の拡充（LINEによる受付）」に関連する事業である。

## ■ 業務効率化推進支援事業

新規

R 2 予算

9,570 千円

「業務プロセス分析」の結果を踏まえて業務効率化を進めるに当たり、実施事業の優先順位、実施手法、費用対効果、法的課題、スケジュールなど、全庁的な改善策の検討支援業務を委託する。また、業務効率化に向けた具体的な改善策を実施するに当たり、各課における対象業務の特定、仕様書作成等の業務支援を委託する。

・令和2年度：業務効率化に向けた改善策の実施方法の検討、業務効率化の実施に向けた各課支援、改善策の実施